

「高千穂郷」通信

NO.191

平成30年12月号

(発行：宮崎県西臼杵支庁)

九州中央自動車道高千穂日之影道路 (雲海橋交差点～日之影深角IC) 開通式典



九州中央自動車道高千穂日之影道路(約5.1キロ)の一部区間(雲海橋交差点～日之影深角IC)が、11月11日(土)に開通したことに伴い、同日、日之影深角ICで開通式典が行われました。国土交通省延岡河川国道事務所と宮崎県、日之影町が主催した式典では、来賓祝辞やテープカット、通り初めのパレードがあり、西臼杵郡内で初となる高速道路の開通式が盛大に祝われました。

11月2日(金)には、大平山トンネル内で交通事故を想定した訓練が行われ、国交省九州地方整備局と高千穂警察署、西臼杵広域行政事務組合が参加し、情報伝達や交通規制、人命救助の際における連携の確認がありました。

高千穂日之影道路は、災害発生時の緊急輸送や地場産業の振興、救急医療環境の向上など地域活性化を支援する道路です。今回の開通により、高千穂町から延岡市までの所要時間は約3分短縮されます。

「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」モニターツアー開催

11月23日(金)と24日(土)に、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」に登録された高千穂町や日之影町を巡る県主催のモニターツアーが行われました。

当日は絶好の秋晴れの中、延岡市にある神さん山や比叡山でのトレッキングや、日之影町の石垣の村トロッコ道での森林セラピーウォーキング、高千穂峡や天岩戸神社の散策などを満喫しました。

福岡方面に在住する19名の幅広い年齢層の方々にモニターとして、御参加いただきました。今回いただいた貴重な意見が、ユネスコエコパークを生かした施策等に反映されることとなります。



水土里の路ウォーキングin高千穂

11月3日（土・祝）に、高千穂町内で水土里の路ウォーキングin高千穂が開催されました。

本イベントは、農業や農村が持つ様々な役割やその大切さについて学んでもらうことを目的に、宮崎県内の各地で開催されており、今回で15回目を迎えました。

当日は天候にも恵まれ、子どもから年配の方まで県内外から約80名の参加者が集まり、色づきはじめて山々や渓谷、棚田など西臼杵ならではの農村風景を眺めながら、参加者はウォーキングを楽しみました。昼食では、おにぎりや温かい汁物など、地元の方のふるまいに舌鼓を打ちました。

コースの途中に設置されたポイントでは、クイズに挑戦するために真剣にパネルを読み込む姿など、イベントを通じて農業や農村について楽しく学んでいる様子が伺えました。



土木の仕事に関する出前講座

11月20日（火）に、高千穂高校の1年生を対象にした出前講座がありました。西臼杵支庁と建設業協会から「土木の仕事」について説明があり、スライドや実際にドローンを飛ばしながら土木技術職の仕事の紹介がありました。

支庁土木課からは、県の土木技術職の業務として、道路や河川など社会資本の整備のほか、防災や減災への取組や、美しい宮崎づくりを推進する取組について紹介しました。

建設業協会からは、ドローンなどの先進的な機械を活用した土木工事の現場や、国土を守る建設業者の取組事例について紹介がありました。進路選択を控えた高校生の皆さんは熱心に話を聞いていました。



農事功績者表彰がありました

11月14日（水）に、東京都において農事功績者表彰式が開催され、宮崎県からは高千穂町向山の飯干敏光さんが表彰され、緑白綬有功章を受章しました。

飯干さんは、茶業経営において、中山間地の機械化に積極的に取り組み、機械開発の実証や防除作業等の省力化を実現したことや、地域の共同茶工場の管理と良質な茶の加工製造により全国一の釜炒り茶産地基盤の維持への貢献が高く評価されました。

この農事功績者表彰は、公益社団法人「大日本農会」が主催する表彰事業で、総裁であられる秋篠宮文仁親王殿下の御名により表彰が行われるものです。今年で102回目を迎え、69名が受章しました。殿下からは「本表彰事業が農業の励みとなり、受章者の先進的な取組が農業農村の発展に寄与するものとして期待申し上げます」という主旨のおことばをいただきました。



障がい者に配慮した避難所運営訓練

11月18日（日）に、五ヶ瀬町立上組小学校で、障がい者に配慮した避難所の運営訓練が行われました。6区地区と西臼杵地域障がい者自立支援協議会が共催で行ったもので、同地区の福祉作業所である日融工房に通う障がい者や地域住民、消防団、防災士、関係機関など113名が参加しました。

訓練では避難者の受入れや炊き出し、避難誘導支援訓練、段ボール間仕切り壁づくり、車いす用トイレ設置体験などが行われました。また、身体障がいを持ち、熊本地震で被災経験のある作本誠一さんによる講話があり、被災時の体験や障がい者用仮設住宅設置の重要性などをお話いただき、災害時における障がい者の大変さや思いについて知ることが出来ました。

参加者からは「日ごろからの地域のつながりの大切さを感じた」との声や、「地域にある障がい者施設のことを理解するいい機会になった」などの声がありました。



平成30年度宮崎県社会福祉大会

10月31日（水）に、宮崎市で開催された宮崎県社会福祉大会で、多年にわたり社会福祉活動の発展に功労のあった方々が表彰を受けられました。

西臼杵郡内からは佐藤清司さん、篠村千登勢さん、飯干恭子さん、甲斐憲章さん、緒方志保子さん、林喜代徳さん、寺岡征子さんの7名の方が県知事表彰を受けられました。

受賞された皆様は、地域の障がい者福祉や子育て支援、高齢者に対する積極的な介護支援など、福祉分野における多大な貢献はもとより、他の模範となる素晴らしい取組が高く評価されました。受賞された皆様、おめでとうございます。



農業改良普及事業協議会で新規就農対策を調査

11月1日（木）に、農業改良普及事業協議会の委員と幹事の13名で、新規就農者確保対策の先進事例として大分県佐伯市のファーマーズスクールと臼杵市のアグリ起業学校を調査しました。

どちらも新規就農者を県内外から募集しており、各市の推奨品目を生産する就農者が確実に確保されていました。

新規就農者が定着するためには、就農前の綿密な面談やお試し就農等の研修会、自治体・関係機関で連携した住居・農地確保の支援、また就農後のしっかりとしたフォローアップが重要であることを学ぶことができ、有意義な研修となりました。



緑の少年団による植樹・木育活動がありました



11月11日（日）に、高千穂町四季見原キャンプ場近くの町有林において、高千穂小みどりの少年団による植樹祭があり、あわせて町内の巨樹古木を活用した木育活動を行いました。

当日は、森林環境税使途事業を活用し、ヤマザクラやイチョウ（外2種）の苗木200本を緑の少年団10名、保護者7名と関係職員で植樹し、シカの食害を防ぐ保護具を苗木に取り付けました。



植樹祭終了後には、3本の巨樹が「新宮崎巨樹100選」に選定されている下野八幡神社に移動し、巨樹古木について学ぶ活動などを行いました。昼食後に作成したバードコールを用いて、鳥が鳴き返してくれるか試すなど、自然の野鳥とのふれあいを楽しむ時間もあり、充実した時間となりました。

五ヶ瀬ハイランドスキー場安全祈願祭



12月3日（月）に、今月14日（金）にオープンされる五ヶ瀬ハイランドスキー場の安全祈願祭が行われました。

当日は、玉串奉奠などの神事が行われ、スタッフを含めた来場者全員の無事故と、スキー場の盛況が祈願されました。

昨年好評だった初心者コースの整備や、福岡や熊本方面からのバスツアーに加えて、平日限定の学生割引等に新たにに取り組む予定です。今年の冬はぜひ五ヶ瀬ハイランドスキー場にお越しください！

全国神楽シンポジウム2018

11月18日（日）に、國學院大學（東京都）にて、全国神楽シンポジウム2018が開催されました。当日は、「神楽とは何か」と題して國學院大學の新谷教授と、「高千穂神楽への招待」と題してみやざきの神楽魅力発信委員会の小川教授から基調講演がありました。


シンポジウム後半には、国指定重要無形民俗文化財の「高千穂の夜神楽」が奉納されました。公演した野方野地区は、世帯数83戸の集落で、氏神様として崇敬される石神社は、高千穂庄神明帳に「牛神大明神」として記されている伝統ある古い神社です。当日は、弓正護や錨女（うずめ）、戸取などの演目が舞われ、神楽せり唄を会場の参加者が一体となって掛け合う場面も見られました。

会場の入口では、町の特産品が販売され、油みそなどの食べ物が人気で多く買い求められていました。



◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

Facebookページ  「ウキウキ！好き好き！ニシウスキ！」更新中！

記事として紹介できるイベントや取組等がありましたら、上記まで御連絡ください！

